

DIY施工を行なう場合、注意事項をご確認の上、安全に注意して自己責任の下、施工をお願い致します。
施工道具・施工液などは当社販売サイトをご確認ください。

注意

当社販売のフィルムは全てプロフェッショナル向けの自動車アクセサリ部品、建材です。

フィルム施工には技術・知識・工具などが必要です。

フィルム施工にはカーテン・ブラインドなどの脱着、養生、足場・脚立などが必要になる場合があります。

フィルムを貼ることにより夜間など見えにくくなるなど視界が悪く暗くなる事がある事をご理解の上、施工をお願い致します。

特に記載が無い限り、全て室内側施工(内貼り)を推奨しています。

外貼り施工などフィルム面(ハードコート面)より直射を受ける場所への施工は耐久性が落ちます。

特に記載が無い限り全てガラス施工専用品です。プラスチック・アクリル・ポリカーポネートなどへの施工は推奨しておりません。

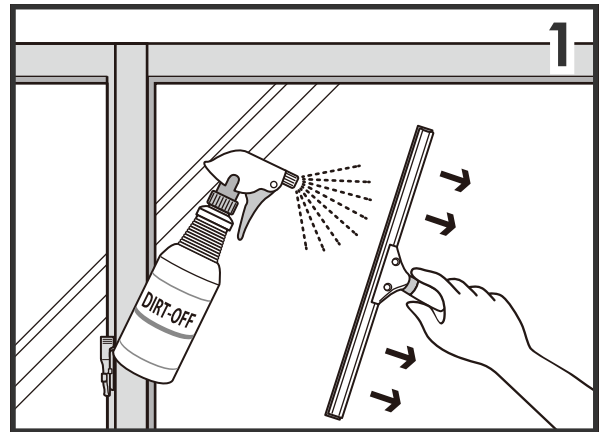
日射吸収率の上がるフィルムを施工する事により、熱割れを起こす可能性があります。(建物ガラス)

網入りガラス・傷の有るガラス・ペアガラス・影が入るガラスは特に注意が必要です。

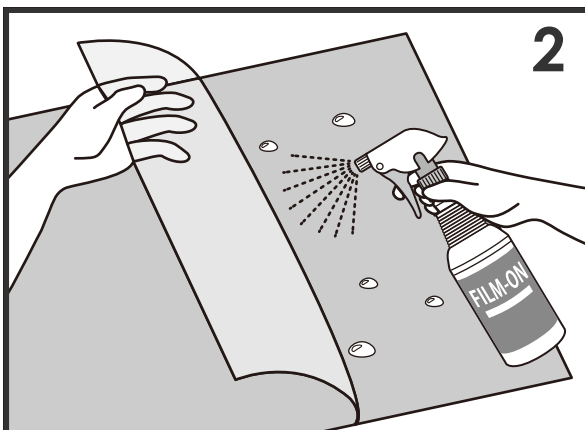
施工直後は本来の接着力が出ていません。水が抜けて本来の接着力が出るまでの養生期間が必要です。

養生期間中は結露など水に濡らさない、触れないなどの注意が必要です。

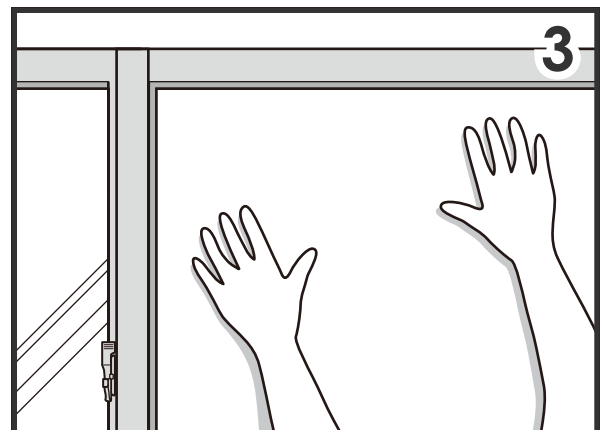
貼付けにはフィルムオン(推奨)又は中性洗剤(非推奨)を蒸留水、または不純物の無い水道水で薄めた施工液をご使用ください。



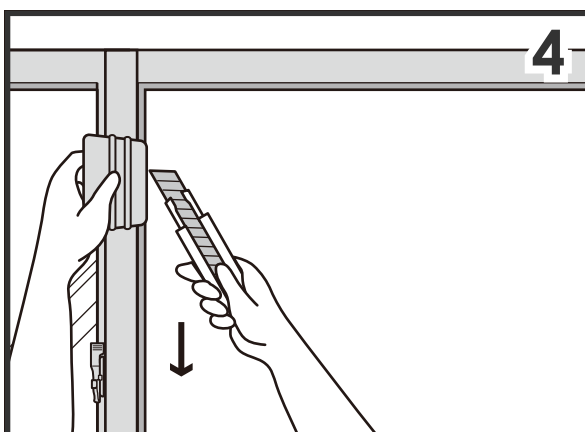
ダートオフ、または中性洗剤を水で薄めた清掃用液又は施工液をスプレーしてガラス用スクレーパー、水切りスキージ、ヘラ、ペーパータオルなどを使用して、汚れの無いように清掃してください。



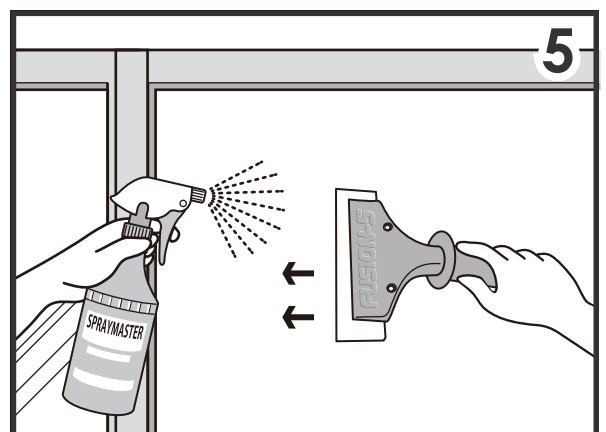
あらかじめフィルムを窓サイズに(5~20mm程度大きく)裁断します。透明の剥離フィルムを剥がし、接着剤面とガラスに施工液をたっぷりスプレーしてください。



窓枠より1~2mm程内側にフィルムを貼り付けます。フィルム面にも滑りを良くする為のスプレーを行い、スクイージなどで施工液を抜き、位置決めを行います。



位置決め後、窓枠より大きい部分は定規やへらを使い、カッターでガラスに傷を付けないように切り取ります。



仕上げに適切な硬さのスクイージを使い、施工液が残らないように水抜きします。エッジ部はペーパータオルを巻いたへらなどを使用します。